

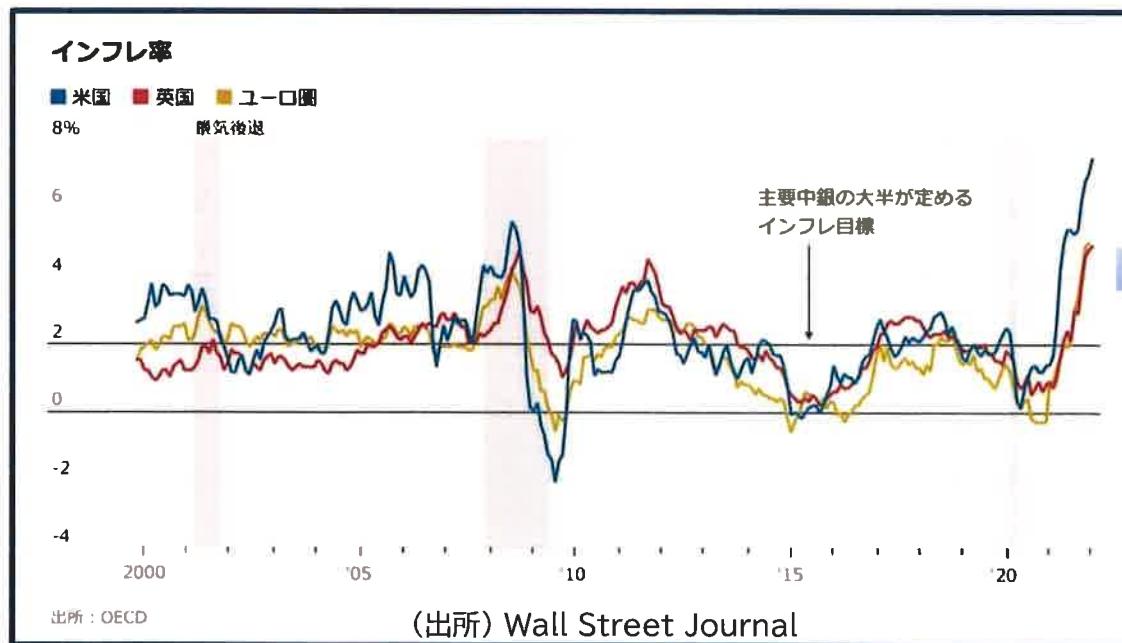


# 年初来の市場の動きを再確認

3月14日 月

## ■ 今週、話題になりそうな出来事

- ・3月15-16日:米国連邦公開市場委員会(FOMC)
  - 雇用統計(失業率低下、雇用者増加)
  - 利上げ(0.25%~0.5%)の見通し
  - エネルギー、食品価格の急騰が攪乱要因
- ・アメリカのインフレ懸念に注目



『先進主要国の  
インフレ率は  
今後20年程度  
4%前後で落ち  
着くだろう』  
(チャールズ・グッドハート)

世界の中央銀行政策  
担当者の間で話題に

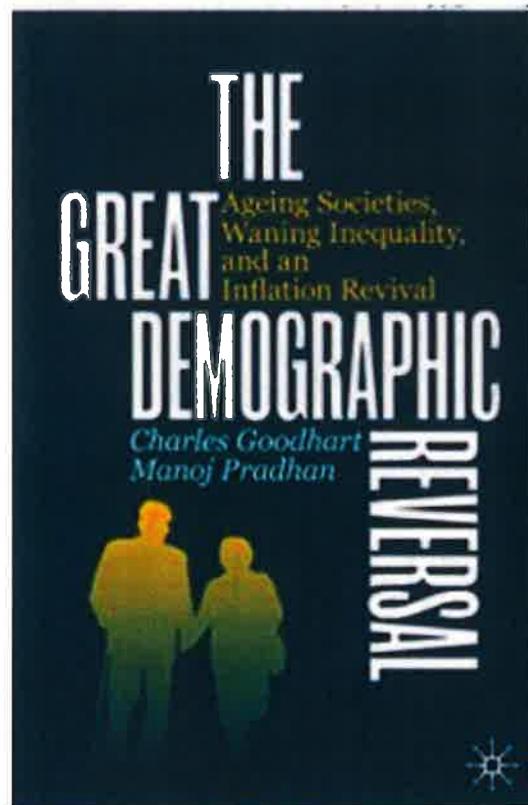


# 年初来の市場の動きを再確認

## ■ 人口増加とグローバリゼーションの賜物

3月 14日 月

The Great Demographic Reversal



「The Great Demographic Reversal」  
(チャールズ・グッドハート、マノフ・プラダン)

- ◎ 「低金利・低インフレ率のもとでの安定成長」から  
「高金利・高インフレ率の時代」へ向こう20年続く
- ◎ ①世界レベルで労働人口が増加→減少に向かう  
新興国→中国・東欧の改革に伴う労働供給  
グローバリゼーションで世界の生産  
拠点に組み込まれてきた  
→「グローバリゼーションの終焉」  
「中国でも人口減少に向かう」  
先進国→ベビーブーマー世代の労働参加  
女性の労働参加  
→人口減少へ
- ②先進諸国の負債の拡大→インフレを許容する社会  
〔インフレはスローモーションの債務破棄〕

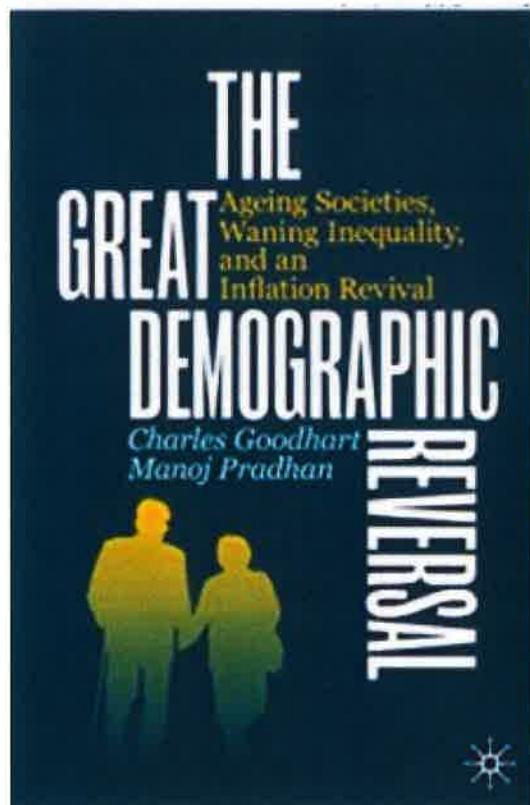


# 年初来の市場の動きを再確認

3/14

## ■ 日本もインフレの時代が来るだろう

The Great Demographic Reversal



「The Great Demographic Reversal」  
(チャールズ・グッドハート、マノフ・プラダン)

### ◎ 日本も他の先進国同様、インフレになるだろう

- ①1985年からの超円高→生産拠点をアジアに移した  
→同時に製造業の労働コストが低下
- ②高齢化・政府の債務増大にもかかわらず、日本が  
インフレ・金利上昇にも見舞われなかつた理由がこれ
- ③日本の労働者の賃金が上昇しなかつた理由も
- ④グローバル化や人口ボーナスの恩恵に浴していた  
という意味で日本経済は例外でも特殊でもなく、  
今後は他の先進国の場合と同様に、日本も大逆転に  
巻き込まれるというのが著者の主張

### ◎ コロナがインフレのきっかけを作った

- ①終戦後の民生需要回復が戦後のインフレを引き起こ  
したように、コロナ終了後の急激な需要回復は  
インフレを引き起こす
- ②需要回復に伴う資金需要の拡大が金利の上昇に

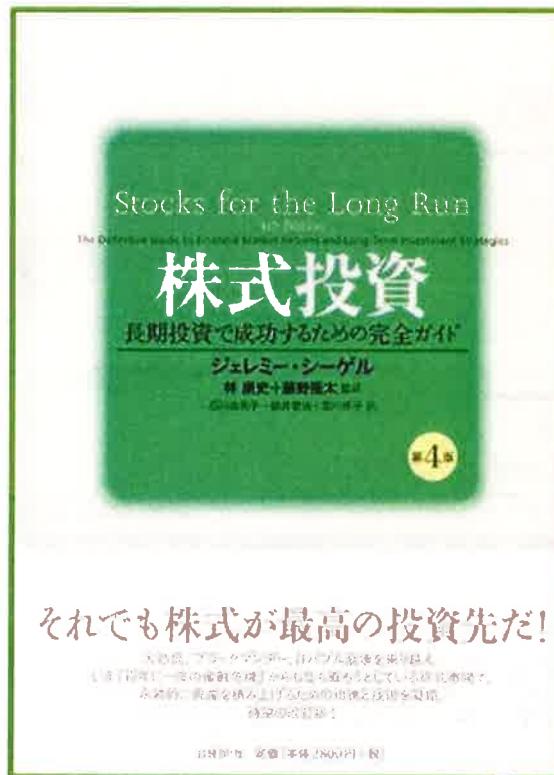


# 長期で株式投資に勝るものなし

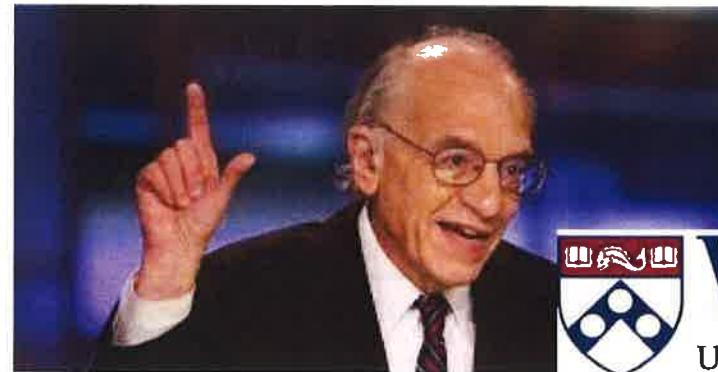
2022年  
6月20日号

■『大恐慌、ブラックマンデー、ITバブル崩壊を乗り越え、  
いま“百年に一度”の金融危機からも立ち直ろうとして  
いる株式市場で…… それでも株式が最高の投資先だ』

①



2009年7月刊行



 Wharton  
UNIVERSITY of PENNSYLVANIA

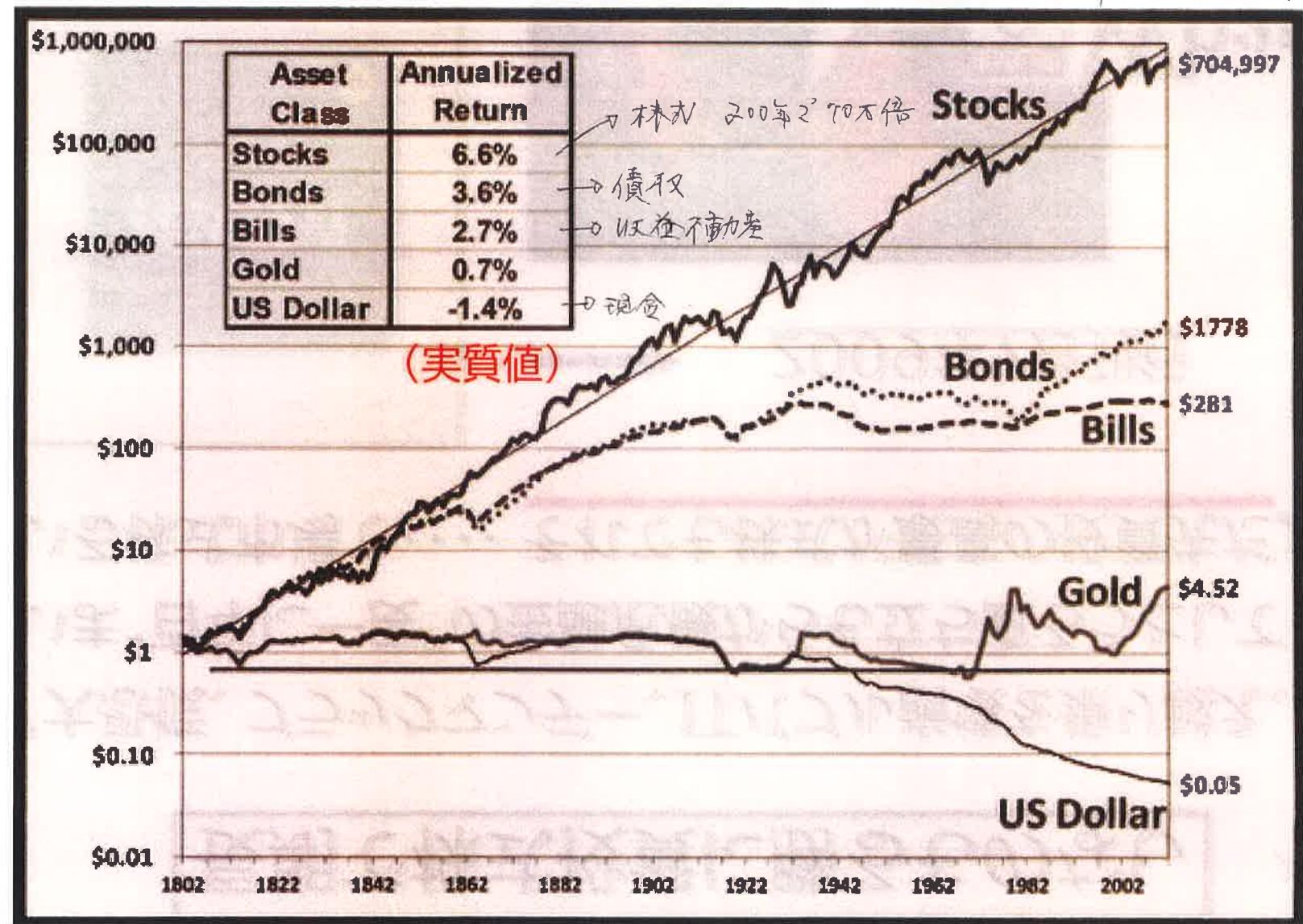
ブレない姿勢が重要



# 長期で株式投資に勝るものなし

2022.6.20

インフレ率控除後



(出所)『株式投資 (Stocks for the Long Run)』(フレミー・シーゲル)



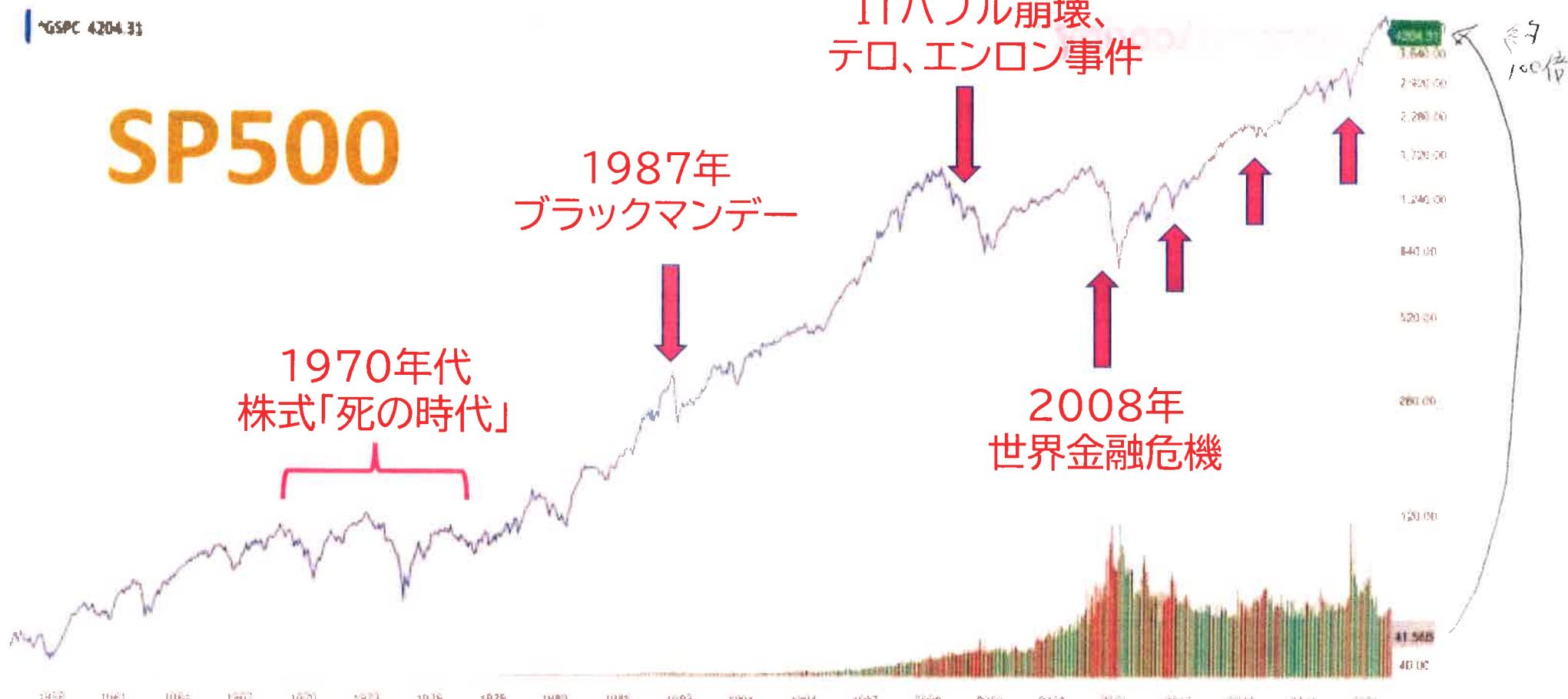
# 長期で株式投資に勝るものなし

2022.6.20

## ■ 過去どんな悲惨な出来事が起きてても株式市場は上昇

現在  
? ↓

66年間  
↑  
2



1956年

(出所) ヤフーファイナンス



# 株式市場の見方

6月20日予

④

## ■ 暴落にはいくつかのパターンがある

時期	暴落イベント	下落率	回復までに要した期間
1987年	ブラックマンデー	22%	17ヶ月(MSCI-World)
1990年	平成バブルの崩壊	25%	40ヶ月(MSCI-World)
1997年	アジア通貨危機	7%	7ヶ月(MSCI-World)
1998年	ロシア通貨危機	14%	5ヶ月(MSCI-World)
2000年	ITバブル崩壊	47%	79ヶ月(MSCI-World)
2007年	世界金融危機	55%	76ヶ月(MSCI-World)
2010年	欧州債務危機(1)	10%	6ヶ月(MSCI-World)
2012年	欧州債務危機(2)	20%	21ヶ月(MSCI-World)
2015年	チャイナショック	13%	20ヶ月(MSCI-World)

## ■ 4つに分類すると

- 今回 ①景気後退型…条件次第では回復までに時間を要する暴落(1-2年が普通)  
②イベントショック型…ダメージが小さい暴落  
③地域限定型…他国への波及は限定的  
④バランスシート崩壊(金融システム崩壊)型…深刻な暴落、回復までに時間要す